



健康づくりは
幸せづくり

Making Health
is making happiness

第61期

株主通信

平成26年4月1日～平成27年3月31日

Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況（連結）	P.3
研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
生産物流の状況／次期の見通し	P.7
株主様ご優待のお知らせ	P.8
トピックス	P.9
財務諸表（連結）	P.11
会社情報	P.13
株式情報	P.14
株主メモ	



ゼリア新薬

Z E R I A

株主の皆様へ



代表取締役会長兼CEO

伊部 幸顕

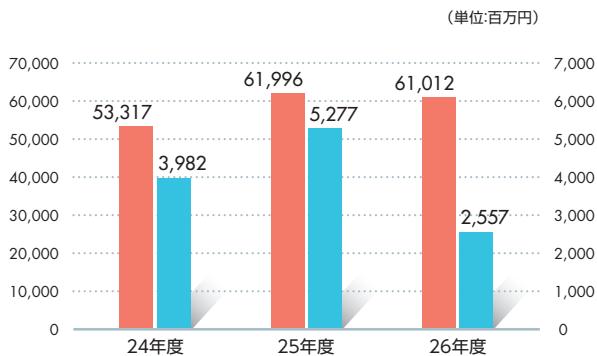
代表取締役社長兼COO

伊部 充弘

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

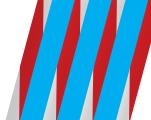
第61期の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

売上高 (■:左目盛) / 当期純利益 (■:右目盛)



海外売上高 (■:左目盛) / 海外売上高比率 (●:右目盛)





当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の積極的な金融・財政運営を背景に雇用環境の改善や民間設備投資の伸びなどから、緩やかな回復基調を辿りました。しかしながら、消費税率引き上げ後の個人消費の低迷など克服すべき課題も多く、引き続き不透明な状況下にあります。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は昨年4月に薬価改定が行われるとともに、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が従来にも増して強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても、依然として国内需要の前年割れの状況が続き市場競争が激しさを増すなど、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、平成26年度を起点とする3ヵ年の第8次中期経営計画(平成26年度～平成28年度)をスタートさせました。初年度である当連結会計年度では、グローバル企業としてアジアにおいて事業展開の第1歩を踏み出すとともに、従来より「車の両輪」と捉えております医療用医薬品事業とコンシューマーヘルスケア事業を力強く成長させるべく、経営資源の積極的な投入を行ってまいりました。

これらの活動の結果、コンシューマーヘルスケア事業は「ヘパリーゼ®群」の伸びにより売上を拡大いたしました。国内医療用医薬品事業が後発医薬品の使用促進の影響や平成25年6月発売の機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」の市場構築の遅れなどを受けて苦戦したことから、当連結会計年度の売上高は、610億12百万円(前期比1.6%減)となりました。また、利益につきましては、ライセンスおよびロイヤリティ収入の減少や、研究開発費などの経費が大きく増加したことなどから、営業利益26億78百万円(前期比60.6%減)、経常利益27億70百万円(前期比59.3%減)、当期純利益25億57百万円(前期比51.5%減)となりました。

なお、当連結会計年度の海外売上高比率は17.2%(前期13.4%)となっております。

営業の概況(連結)

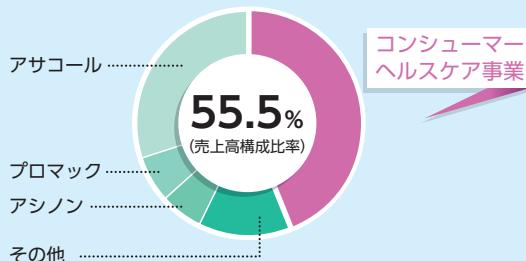
医療用医薬品事業

売上高

337億59百万円 (前期比 7.3%減)

主要製品売上高

アサコール	188.0億円
プロマック	39.5億円
アシノン	35.1億円



医療用医薬品事業連結売上高



当事業におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR(医薬情報担当者)の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、国内においては消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けたものの、Tillotts Pharma AGの自販体制の強化を通じ海外売上が引き続き伸長したことから、売上は堅調に推移いたしました。しかしながら、H₂受容体拮抗剤「アシノン®」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」などの製品は、昨年4月の薬価改定や後発医薬品の使用促進の影響を受けて苦戦いたしました。また、機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」につきましては、アステラス製薬株式会社と共同で早期の市場構築に努めておりますが、その進捗は計画対比遅れる結果となっております。

これらの結果、当事業の売上高は、337億59百万円(前期比7.3%減)となりました。



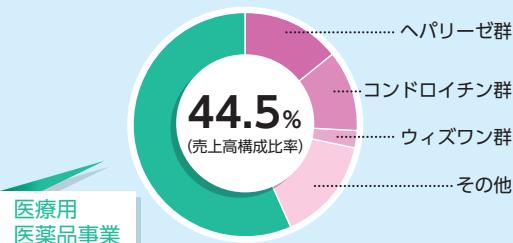
コンシューマーヘルスケア事業

売上高

270億95百万円 (前期比 ▶ 6.7%増)

主要製品売上高

ヘパリーゼ群	93.5億円
コンドロイチン群	74.2億円
ウィズワン群	15.4億円



コンシューマーヘルスケア事業連結売上高

(単位：百万円)



当事業におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

主力製品群である「ヘパリーゼ®群」につきましては、テレビCMをはじめ多様なメディアを活用した広告宣伝活動を積極的に展開した結果、製品認知度がさらに向上し、売上を拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼ®W群」は、前年度に引き続き売上を大きく拡大いたしました。また、平成26年7月より沖縄県にて先行販売してご好評をいただいた「ヘパリーゼ®アミノ」(指定医薬部外品)を平成27年3月に全国発売し、製品ラインアップの充実にも取り組んでおります。「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、売上は堅調に推移いたしました。さらに、日本で初めて月経前症候群の効能を取得した西洋ハーブ・ダイレクトOTC医薬品「プレフェミン®」(要指導医薬品)を昨年9月に発売いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、270億95百万円(前期比6.7%増)となりました。



研究開発の状況

研究開発部門におきましては、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績のある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

最重点領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、「Z-206(アサコール®)」は、協和発酵キリン株式会社と共同で潰瘍性大腸炎を対象とした、用法・用量を追加するフェーズⅢを実施しております。また、中国での開発につきましては、フェーズⅢを終了し、平成25年5月に承認申請を実施済みであります。

自社オリジナル品の「Z-338(アコファイド®)」につきましては、欧州において機能性ディスペプシアを対象としたフェーズⅢを実施しております。

エーザイ株式会社から導入した長時間作用型プロトンポンプ阻害剤「Z-215」につきましては、逆流性食道炎を対象としたフェーズⅡを開始いたしました。

「Z-100」につきましては、子宮頸癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅢ国際共同治験を開始いたしました。

「Z-360」につきましては、膵臓癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅡ国際共同治験を実施しております。

スイスVifor (International) AGから導入いたしました鉄欠乏性貧血治療剤「Z-213」につきましては、フェーズⅠbを開始いたしました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、西洋ハーブ製剤をはじめとして、十数品目の開発を進めております。

グループ会社のTillotts Pharma AGは欧州を中心に下部消化器疾患治療薬の開発を進めております。

新技術を適用した改良型メサラジン製剤(同社開発番号「TP05」)につきましては、潰瘍性大腸炎を対象として、欧州・カナダにおいてフェーズⅢを実施しております。

米国Cancer Prevention Pharmaceuticals, Inc.と共同開発中の家族性大腸腺腫症治療薬(同「TP09」)につきましては、欧州・米国においてフェーズⅢを実施しております。

これらの活動の結果、当連結会計年度の研究開発費は前年度実績から大きく増加し、98億82百万円(前期比32.4%増)となりました。

研究開発パイプライン

● 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(平成27年5月8日現在)

1) 消化器系分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	潰瘍性大腸炎 アサコール®用法用量追加	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅡ	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品 アジア共同治験
フェーズⅡ	Z-215	自社	酸分泌関連疾患	長時間作用型 プロトンポンプ阻害剤	導入品 (エーザイ)

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品 アジア共同治験
フェーズⅠb	Z-213/Ferric carboxymaltose	自社	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品 (Vifor (International) AG)

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認申請中 (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma AG)	潰瘍性大腸炎 アサコール®	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品

III. Tillotts Pharma AG

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ (欧州・カナダ)	TP05/ メサラジン	Tillotts Pharma AG	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州・米国)	TP09/ CPP-1X・スリンダグ	共同開発 (Tillotts Pharma AG - Cancer Prevention Pharmaceuticals, Inc.)	家族性大腸腺腫症	ポリアミン生合成抑制	導入品 (Cancer Prevention Pharmaceuticals, Inc.)

自社(Gr)品: 自社グループオリジナル品

ご参考

フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法を*プラセボと比較しながら調べます。

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、及び使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、*プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

*プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

生産物流の状況／次期の見通し

● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、さらなる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、今後とも需要の拡大が見込まれるOTC医薬品をはじめとした当社製品の安定供給のため、必要な生産能力の確保を目的として、埼玉工場のリニューアル工事を開始いたしました。

● クローズアップ

「ヘパリーゼ®アミノ」全国発売

沖縄県で先行販売していましたが、コンビニエンスストアで買えるヘパリーゼ®ブランドの滋養強壮ミニドリンク剤「ヘパリーゼ®アミノ」(指定医薬部外品)を、平成27年3月23日に全国のコンビニエンスストアで発売いたしました。

筋肉が活動する際のエネルギー源になる分岐鎖アミノ酸 (BCAA) などの5種類のアミノ酸に、疲労回復効果のあるタウリン、ビタミンB₂、B₆などを配合した“疲れた人のための”「ヘパリーゼ®アミノ」を、ヘパリーゼ®ブランドのラインアップ製品として積極的に展開してまいります。



● 次期の見通し

平成27年度の連結業績予想につきましては、売上高650億円(前期比6.5%増)、営業利益40億円(前期比49.3%増)、経常利益35億円(前期比26.3%増)、当期純利益30億円(前期比17.3%増)と増収・増益を確保する見込みです。

売上高

医療用医薬品事業におきましては、引き続き後発医薬品の使用促進が強力に推進されることが予想される一方で、主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」の国内外における売上拡大や、機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」のさらなる市場構築を図ることにより、増収を見込んでおります。また、コンシューマーヘルスケア事業におきましても、前年に引き続き主力製品である「ヘパリーゼ®群」、「コンドロイチン群」等の売上拡大により、増収を見込んでおります。

利益

前年度に導入しました開発テーマや海外で実施している治験の進捗などにより研究開発費が引き続き高水準で推移することを見込んでおりますが、主力製品の売上高の増加により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに増益を見込んでおります。

	第61期	第62期(予想)
売上高	610億12百万円 (前期比 1.6%減)	650億円 (前期比 6.5%増)
営業利益	26億78百万円 (前期比 60.6%減)	40億円 (前期比 49.3%増)
経常利益	27億70百万円 (前期比 59.3%減)	35億円 (前期比 26.3%増)
当期純利益	25億57百万円 (前期比 51.5%減)	30億円 (前期比 17.3%増)

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA～E、5つのコースからご希望のいずれかを、100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはFコースをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

A
コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品
「アルミ缶入りドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」



D
コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液
「ZZ:CC® (ジージー・シーシー)
アドソープエッセンス (30g)」2本セット



B
コース

健康飲料
「コンドロビー® 濃縮液潤甦® (じゅんこう)」
2本セット



E
コース

上質なうるおいを実感する3品目
「IONAベーシックスキンケア3点セット」



C
コース

美容・健康商品
「コンドロマックス®・アポスティ®セット」



F
コース

肝臓エキス・ウコンエキス配合ドリンク
「ヘパリーゼ®W」10本



ベトナム F. T. Pharma社の株式取得

平成27年4月17日にベトナムの医薬品製造販売会社であるPharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd（所在地：ベトナム ホーチミン市、代表者：Le Thanh Su、以下「F. T. Pharma社」）の株式の49.0%を取得する契約を締結いたしました。

当社はこれまで、平成21年9月にスイスのTillotts Pharma AG、平成22年9月にデンマークのZPD A/Sを買収し、海外展開を進めてまいりました。平成26年度からスタートした3カ年の第8次中期経営計画においては、欧州に続き成長著しいアジア地域においても事業展開を進め、グローバル企業としての基盤強化を図る計画としております。

このたび株式を取得するF. T. Pharma社は、ベトナムで医療用医薬品、OTC医薬品および健康食品の製造販売を行っている中堅医薬品製造販売会社です。WHO-GMPに準拠した医薬品製造工場を有しており、医療用医薬品、OTC医薬品合わせて約200品目を製造販売しております。株式取得後は、現行の事業を継続・発展させるとともに、同社を拠点として、当社グループの医療用医薬品、OTC医薬品、化粧品、サプリメントなどの幅広い製品ラインアップの中からベトナムでのニーズに合った製品を販売することを検討してまいります。

同社の株式を取得することにより、当社グループのアジア地域における事業展開の際の一つの拠点とし、グローバル企業としての基盤強化に一層努めてまいります。

F. T. Pharma社概要

名 称	Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd
所 在 地	10 Cong Truong Quoc Te, District 3, Ho Chi Minh City, Vietnam
代 表 者	Le Thanh Su (Chairman of the Board of Directors)
事 業 内 容	医薬品製造販売業、健康食品製造販売業、他
資 本 金	46,500百万ベトナムドン（2.6億円）
従 業 員 数	331名（平成26年9月末時点）

注）1ベトナムドンは、平成27年3月16日から4月15日までの為替レートの平均値0.00557円で換算しております。

コンビニエンスストア向け炭酸入りドリンク「ヘパリーゼ®Wスパークリング」新発売

ヘパリーゼ®W（ダブル）シリーズの新製品として、炭酸入りドリンク「ヘパリーゼ®Wスパークリング」（炭酸飲料）を、6月29日（月）に全国のコンビニエンスストアにおいて販売を開始いたします。

「ヘパリーゼ®Wスパークリング」は、肝臓エキスとウコンエキスをダブルで配合したドリンク「ヘパリーゼ®W」の成分を基本に、気分をスッキリさせる炭酸と、頭をシャッキリさせる天然カフェインを配合し、朝から元気を応援します。

当社では、コンビニエンスストア向けに、清涼飲料水「ヘパリーゼ®W」、同「ヘパリーゼ®Wハイパー」、指定医薬部外品ドリンク「ヘパリーゼ®アミノ」、栄養補助食品「ヘパリーゼ®W粒タイプ」を販売しており、大変好評をいただいております。このラインアップに新たに「ヘパリーゼ®Wスパークリング」を加え、皆様の飲用シーンや嗜好に合わせた製品をご使用いただくことを期待しております。

「ヘパリーゼ®Wスパークリング」の特長

- 気分をスッキリさせる炭酸と、頭をシャッキリさせる天然カフェイン配合：お付き合いの多い方の朝をサポートします。
- シュワッとパイン味：程よい強さの炭酸が爽快に感じるパイン味。おいしくお飲みいただけます。
- うれしい成分配合：ウコンエキス（クルクミン）の吸収を高める黒コショウ抽出物と、ビタミン類を配合しました。

今回の発売に合わせ、俳優やスポーツキャスターとして活躍する川平慈英さんを引き続き起用した「ヘパリーゼ®Wスパークリング」のテレビCMの放映を7月初旬より全国で開始いたします。



財務諸表(連結)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度	科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成26年3月31日現在	平成27年3月31日現在			平成26年3月31日現在	平成27年3月31日現在
[資産の部]				[負債の部]			
流動資産		49,902	45,680	流動負債		25,953	21,911
現金及び預金		22,202	18,012	支払手形及び買掛金		3,718	2,383
受取手形及び売掛金		15,484	16,241	短期借入金		12,593	11,572
たな卸資産		7,733	8,189	その他		9,641	7,954
繰延税金資産		1,368	943	固定負債		14,806	11,786
その他		3,122	2,312	長期借入金		13,867	10,636
貸倒引当金		△10	△18	退職給付に係る負債		154	371
固定資産		49,591	50,587	資産除去債務		73	74
有形固定資産		21,952	22,021	その他		710	705
建物及び構築物		7,340	7,092	負債合計		40,759	33,697
機械装置及び運搬具		2,505	2,008	[純資産の部]			
土地		11,578	11,579	株主資本		54,025	55,697
建設仮勘定		10	940	資本金		6,593	6,593
その他		517	401	資本剰余金		12,716	12,716
無形固定資産		13,250	12,344	利益剰余金		34,717	36,392
投資その他の資産		14,387	16,221	自己株式		△2	△3
投資有価証券		10,544	9,731	その他の包括利益累計額		4,709	6,872
繰延税金資産		738	85	その他有価証券評価差額金		1,307	1,474
退職給付に係る資産		2,023	5,400	為替換算調整勘定		3,533	3,994
その他		1,129	1,049	退職給付に係る調整累計額		△130	1,403
貸倒引当金		△47	△44	純資産合計		58,734	62,570
資産合計		99,493	96,268	負債・純資産合計		99,493	96,268

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成25年4月1日から平成26年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
売上高		61,996	61,012
売上原価		18,347	18,521
売上総利益		43,649	42,491
返品調整引当金戻入額		105	110
返品調整引当金繰入額		110	62
差引売上総利益		43,644	42,539
販売費及び一般管理費		36,854	39,861
営業利益		6,790	2,678
営業外収益		332	338
営業外費用		318	246
経常利益		6,803	2,770
特別利益		608	1,507
特別損失		102	457
税金等調整前当期純利益		7,309	3,819
法人税、住民税及び事業税		2,562	1,315
法人税等調整額		△527	△53
少数株主損益調整前当期純利益		5,274	2,557
少数株主損失（△）		△2	-
当期純利益		5,277	2,557

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成25年4月1日から平成26年3月31日まで	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		6,573	653
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,013	475
財務活動によるキャッシュ・フロー		9,001	△5,839
現金及び現金同等物に係る換算差額		1,274	177
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）		14,835	△4,533
現金及び現金同等物の期首残高		7,235	22,070
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）		-	343
現金及び現金同等物の期末残高		22,070	17,880

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

（単位：百万円、端数切捨て）

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	6,593	12,716	34,717	△2	54,025	1,307	3,533	△130	4,709	58,734
会計方針の変更による累積的影響額			480		480					480
会計方針の変更を反映した当期首残高	6,593	12,716	35,198	△2	54,505	1,307	3,533	△130	4,709	59,215
当期変動額										
連結範囲の変動			229		229					229
剰余金の配当			△1,593		△1,593					△1,593
当期純利益			2,557		2,557					2,557
自己株式の取得				△1	△1					△1
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						166	461	1,534	2,162	2,162
当期変動額合計	-	-	1,193	△1	1,192	166	461	1,534	2,162	3,354
当期末残高	6,593	12,716	36,392	△3	55,697	1,474	3,994	1,403	6,872	62,570

▶ 会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,426名 (連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売及び輸出入

▶ 役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役 会長兼CEO	伊 部 幸 顕
代表取締役 社長兼COO	伊 部 充 弘
取締役副社長	遠 藤 広 和
専務取締役	降 旗 繁 弥
常務取締役	岸 本 誠
取 締 役	大 野 晃
取 締 役	小 森 哲 夫
取 締 役	林 恭 弘
取 締 役	深 堀 勝 博
取 締 役	加 藤 博 樹
取 締 役	平 賀 義 裕
取 締 役	石 井 克 幸
取 締 役	横 手 秀 和
取 締 役	河 越 利 明
常勤監査役	花 田 雅 彦
常勤監査役	高 見 幸 二郎
監 査 役	中 由 規 子
監 査 役	若 林 博 史

▶ 事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 東京第3営業所
- 神奈川第1・第2営業所
- 埼玉営業所
- 千葉営業所
- 北関東営業所
- 甲信越営業所
- 名古屋支店
- 静岡営業所
- 大阪支店
- 大阪第2営業所
- 神戸営業所
- 京滋営業所
- 北陸営業所
- 中四国支店
- 岡山営業所
- 高松営業所
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 東京物流センター
- 札幌物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

- 出張所 青森・宇都宮・関越・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄

▶ 連結子会社 11社

- Tillotts Pharma AG (スイス)
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- ZPD A/S (デンマーク)
- イオナ インターナショナル株式会社
- 株式会社ゼービス
- Tillotts Pharma AB (スウェーデン)
- Tillotts Pharma Ltd. (アイルランド)
- Tillotts Pharma UK Ltd. (英国)
- Tillotts Pharma Czech s.r.o. (チェコ)
- Tillotts Pharma Spain S.L.U. (スペイン)
- Tillotts Pharma GmbH (ドイツ)

株式情報 (平成27年3月31日現在)

株式の状況

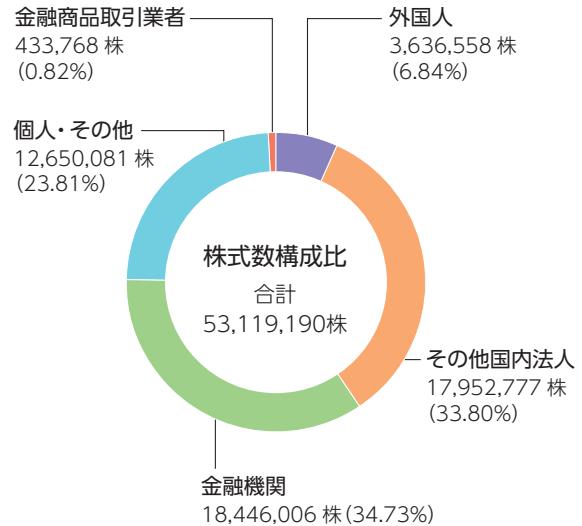
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	10,867名

大株主

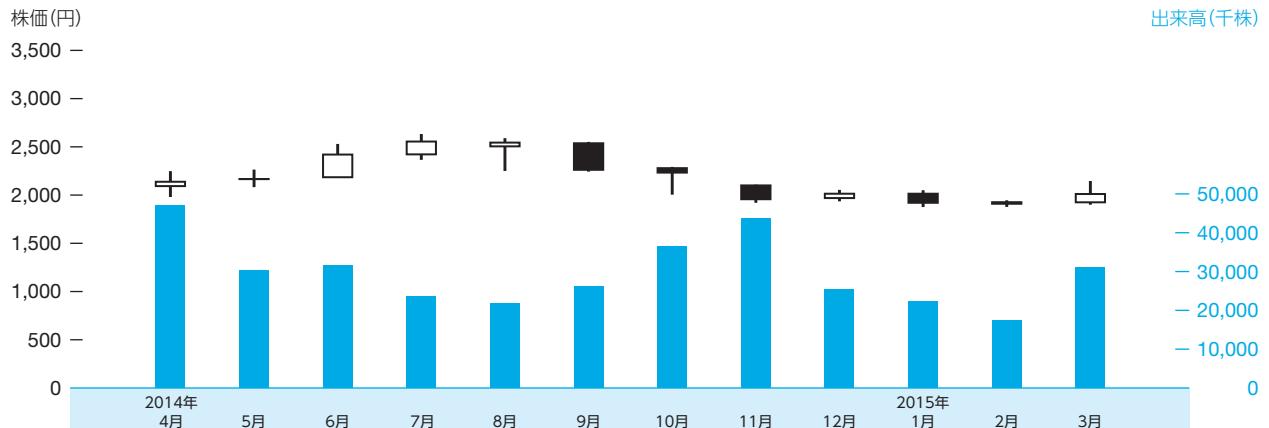
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	8.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,626,800	4.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,107,050	4.0
森永乳業株式会社	2,040,215	3.8
伊部幸顕	1,592,967	3.0
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,508,704	2.8
株式会社三井住友銀行	1,406,131	2.6
株式会社みずほ銀行	1,406,053	2.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,237,700	2.3
株式会社りそな銀行	1,182,385	2.2

(注) 出資比率については、自己株式(3,355株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

<http://www.zeria.co.jp/>



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080

<http://www.zeria.co.jp/>

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬

ZERIA